1953. 9, 15日發行　JAPANESE ASSOCIATION OF UNIVERSITY WOMEN　J.A.U.W.　(12号)

大學婦人協會々報

東京都澁谷区千駄ヶ谷
津田英語会 構内
大学婦人協会
編集発行人 鈴木布美
発行日 昭和廿八年九月十五日
(第十二号)

加盟大学（ABC順）
同志社女子大学、神戸女学院大学、奈良女子大学、日本女子大学、お茶の水女子大学、大阪女子大学、立教大学、東京女子大学、東京大学、津田塾大学、早稲田大学及び其の他旧制大学中承認せられたるもの

JAUW理想の前進へ

會長近影

会長　野見山不二

この度微力の私が会長の重任を托されましたについては非常に責任を感じております。どうか皆様の御協力をえましてこの大切な会が成長の一路をたどりえますようにと衷心より念じております。

JAUWの会員はいま三千人で決して多数とはいえませんが、既に全國に廿九の支部をかぞえるにいたり、創設以来の会長、各支部長、並に役員の方々を中心に私共が女子高等教育推進と婦人の地位向上のためにつくしてきたみちはまことに地味ではありましたが、獨自の重用な役割をはたしたものであったとよろこびと共に深く感謝しています。

今年度の私たちの努力の中心もまたこれまでつくしてきた道の継續と充実とにあると思います。従つてその具体的な仕事である。本年度の奨学金をうるについては、今年も一そうの御援助をおねがい申上げます。この奨学金をつくるにつきましては各支部ともなみなみならぬ御苦心のあることと推察いたしております。先年私がAAUWの奨学金をえて一年有余米國で研究させてもらいました折最後の三ケ月を米國の各地に視察と講演の旅行をいたしましたその折AAUWの方だちにおめにかゝり親しくお話をいたしましたがいづれも奨学金をつくるためには非常な苦心と努力をしておられるのをしりました。別項でおしらせいたしりております通り本年度も亦AAUW國際奨学金に対する候補者推薦方を本部宛に依頼して参りました。AAUWでは三十ケ国に近い国々に數名宛の奨学金を出し又自国内の婦人学究者にもほゞ同數の奨学金を出して国内は勿論欧米各地に研究に出しています。従つてその奨学金總額は毎年莫大な額に達するものと思はれますがそれらが凡て会員の零細な献金によるものです。一九五一年の十一月感謝祭の前日砂漠の州ネヴダァ州のホワイト・パインという小さな町を訪づれました折は丁度、会員各自が自分の家でそだててきたアフリカすみれ—ペコニアの種類でしようが、花がすみれに似ているのでこの名があるのでしよう。いまアメリカではやりの花です—などの花鉢やいろ〳〵のきりばなをもちよつて奨学金のための花市をひらいて居られたところでしたわびしい砂漠地帯の中にぽつねんとあるこの小さな町のその日の美しい光景はいまも鮮かな印象で私の腦裏によみがえつてきてこうしてつくられているAAUWの奨学金をうけたことに対する私の感謝の念は言いあらわしがたいものとなります。私たちもそれ〴〵に苦心して私たちJAAUWのいままでの奨学金をあつめてきましたが時にこんな批評もききますそれは少數な人たちへのほんのちよつびりの奨学金など女子の高等教育の問題に対しては大した意味をもたないというのです。しかしこう云う批評は一人の人にでも実際に激勵援助の手をさしのべる尊さと、これにたづさわつている多くの人たちのあたたかい想いとをめざしている理想とを理解しない言葉です。私たちはJAUWの一番有意義な仕事はこの奨学金をゆたかにしてゆくことにあると信じますし、これこそ私たちの理想——凡て能力のある人は大学教育をうける機会をもちうること——を実現する第一の扉です。この扉はまだほんの少ししか開かれてはいませんが決して閉されることなくいよいよひろく押しひらかれて、次第に東洋からも欧米からも女子学究の人たちを一人でもよいからおよびするようになるまで更に御互いの努力をつづけてゆきたいと存します。

JAUWは婦人の地位の向上については始めから深い関心を抱いてそのためには他の婦人團体とも共力して参りましたが、この面への積極的な働きも亦つづけてゆかねばならぬと思います。法的には日本婦人は実に高い地位をもち諸外国に一歩もひけをとるものでないでしようが、その実態にいたつてはなさけない状態であることが遺感ながら事実です。このギアップをうめるために婦人同志が真剣な努力をつゞけるべきだとたれも感じています。ことに現在婦人の地位について反動的保守のうごきのあることは私共が決してみのがしてならぬ点で、こうしたうごきに対する私共のチャレンヂは勇敢であるべきだと思います。さる四月の總会で決議されました中央教育審議会に婦人委員の任命を要請する運動も文部大臣への面談をすることとともに世論にも訴え必ず目的を達成しなければと決意しています。ついては皆様の力づよい御支持をおねがいいたします。

JAUWのなすべきことは本年も多多あることと存じますが、地方の婦人の地位向上のため教育の充実向上のため、それ〴〵各地の実情に應ずる計画をもつてよい貢献をしていただきますようにとひたすらに念じております。そのため本部で何かお役にたちますことがあれば、出来る限りのことはいたすつもりですからどうぞ御遠慮なくどし〳〵御要求をおきかせ下さいませ。

会員皆様の御健在と御活躍とを祈り、ことしもまたTAUW理想の前進を御互いによろこびあえますようにと願つております。

——一九五三・九月一日——

會員活動狀況について

大原恭子

一九五二年度に「大学婦人協会々員活動狀況調査票」を全國二九支部に配布して二一支部八八〇名の会員から回答を得ました。これは会費納入会員一二一二名の四分の三近くに当るので此種の成績としては上の部であつた事は一重に各支部長の御協力の然らしむるところ、特に小樽、函館、札幌、栃木、長野、岐阜、大分、福岡の八支部からは全員回答を寄せられたのは素晴らしいことであり、神戸支部からも過半數の一二四名の回答があつたのにおひざもとの東京支部からは九二名しかなかつた事実は今後のためにも研究に価するものと思います。この調査に現われた八八〇名の会員の年令については極く大ざつぱに言つて最高が四〇代の二七六名(三一・三%)三〇代が一九七名(二二・三%)二〇代が一七五名(一九・八%)五〇代以上五五名不明四七名という順なのは先づもつて自然な狀態であろうと判断されます。そして今後年令にかゝわらず益々会員の増加を期待したいと願いまず。新制大学設立以前は比較的少數者に限られていた旧制大学出の学士もこの調査では六一名外国大学出身者二〇名、医博、理博、農博七名、PhD三名、M.A, M.S. 等九名、職業を有するもの五二八名、有しないもの三五二名、地方の有職者四五名、同無職三三名に対し東京では七三名の有職者にわずか一九名の種類の無職という數が出ています。職業と大学関係が二六三、小中学校関係が一〇名、官廳三四、大学々長四、其他六三名、社長、課長、校長、局長を始め、教授、学監、学長のつく役目、参与議員、市会議員等重要な責任の地位を占める人々がありなお又、文筆にジャーナリズムに、種々の文化事業につくしている人々、家庭裁判所調停委員を始め教育方面社会福祉方面の各種委員種々婦人團体の会長という有名な名譽職を兼任しているような人々が約五〇名、又名譽職のみを持つ実数がいる人々が四〇名足らずという数が出ていますが記載もれがあるかも知れません。職業婦人が多いので仕事が最高の教育を受けた識見に経験に豊かな家庭婦人にまさるとも劣らずと満たされた仕事をもつと共にそのこれが切望されます(前会員委員長)

募集　奨学生

一、出願資格
1、身体強健、学識あり、性格円満で文化の交流に役立つ者。
2、米国の大学で受講出来る程度に英語を駆使し得る者。(テストについては追つて発表)。
3、留学目的と研究分野及歸国後の計画がはつきりしている者。
4、年令に制限はないが、なるべく大学院以上の研究機関に於て研究を志す者。
5、JAUW会員として一年以上を經過した者。
6、日本に国籍を有する者。
注意　他の方法で、(例えば英米佛等の留学生試験に合格)外国留学の見込ある者は遠慮して頂きたい。

一、奨学金額其他
1、支給期間　一九五四年より一九五五年に至る一ケ年間。
2、支給金額　定額はないが、大学の受講料、宿泊料、食費等を含む金額。他に米国内の旅行費並びに雜費のため六百弗支給。
3、往復渡航費　(約二十五萬円)は原則として自費であるが支出困難な場合には特別の考慮がある。フルブライト助成金その他に應募する事も出来る。
注意　自弁可能の見通しのつく金額を責任をもつて願書に記入すること。

一、出願手續
1、所要書類
(イ)願書　本人が所定の願書に英語で記入する。
(ロ)留学の目的、抱負、研究計画等につき本人が手紙の形で書いたもの一通。(AAUW願書用紙第三頁参照)
(ハ)推薦書　三通
①研究分野に於ての業績につき主任教授其他の責任者によるもの一通、或は勤務成績につき上司によるもの一通
②出身学校校長又は教授によるもの一通。
③大学婦人協会支部長によるもの一通。
(ニ)最終学校成績証明書　一通。
(ホ)医師による健康証明書　一通。
(ヘ)旅券用写眞一枚。
備考　右の書類は本部委員会へ提出の分は英文、邦文何れでもよいが推薦と決定された者は英文で二通ずつ提出を要する。

一、出願先
各支部の願書締切日迄に全部の書類を支部長に提出する。本部締切は十月十五日。締切後到着の分は無効。

一、出願費
郵税、印刷代其他の費用として各出願者は金五百円を願書に添えて納入のこと。
推薦と決定された方からは更に手續上の実費を申受けます。

第一部国内

一、候補者資格
1、学生(大学二年以上の女子学生で有為な人物、年令満三十才以下)
2、研究学徒(二年以上研究に従事するもの年令満四十才以下成可く本協会会員であること)
3、研究グループ(五人以内で前研究学徒と同じ資格を有する者)

二、書類
1、調書(本協会の用紙による)
2、自筆履歴書
3、身体検査書
4、支部長の推薦書

三、出願先
各支部の締切日迄に全部の書類を支部長に提出する本部締切は十日卅一日、締切後到着の分は無効

第二部国外(AAUW)

一、出願資格
1、身体強健、学識あり、性格円満で文化の交流に役立つ者。
2、米国の大学で受講出来る程度に英語を駆使し得る者。(テストについては追つて発表)。
3、留学目的及歸国後の計画がはつきりしている者。
4、年令に制限はないが、なるべく大学院以上の研究機関に於て研究を志す者。
5、JAUW会員として一年以上を經過した者。
6、日本に国籍を有する者。
注意　他の方法で、(例えば英米佛等の留学生試験に合格)外国留学の見込ある者は遠慮して頂きたい。

一、奨学金額其他
1、支給期間　一九五四年より一九五五年に至る一ケ年間。
2、支給金額　定額はないが、大学の受講料、宿泊料、食費等を含む金額。他に米国内の旅行費並びに雜費のため六百弗支給。
3、往復渡航費　(約二十五萬円)は原則として自費であるが支出困難な場合には特別の考慮がある。フルブライト助成金その他に應募する事も出来る。
注意　自弁可能の見通しのつく金額を責任をもつて願書に記入すること。

一、出願手續
1、所要書類
(イ)願書　本人が所定の願書に英語で記入する。
(ロ)留学の目的、抱負、研究計画等につき本人が手紙の形で書いたもの一通。(AAUW願書用紙第三頁参照)
(ハ)推薦書　三通
①研究分野に於ての業績につき主任教授其他の責任者によるもの一通、或は勤務成績につき上司によるもの一通
②出身学校校長又は教授によるもの一通。
③大学婦人協会支部長によるもの一通。
(ニ)最終学校成績証明書　一通。
(ホ)医師による健康証明書　一通。
(ヘ)旅券用写眞一枚。
備考　右の書類は本部委員会へ提出の分は英文、邦文何れでもよいが推薦と決定された者は英文で二通ずつ提出を要する。

一、出願先
各支部の願書締切日迄に全部の書類を支部長に提出する。本部締切は十月十五日。締切後到着の分は無効。

一、出願費
郵税、印刷代其他の費用として各出願者は金五百円を願書に添えて納入のこと。
推薦と決定された方からは更に手續上の実費を申受けます。

一九五三年度本部役員

會長	野見山不二	文京區雜司ヶ谷町八一	
副會長	小川文代	練馬區貫井町三七二	
〃	村井孝子	都下小平町津田塾大学内	
書記	山下たみ	武藏野市吉祥寺一七二〇	
〃	竹内和子	新宿下落合四ノ一六三九	
會計	片田美惠澁谷區千駄谷津田英語會内		
〃	有富光子	文京區高田老松町三四	
企画	鈴木布美	文京區丸山町四〇	
大学基準	道喜美代	豊島区長崎町一ノ三四	
財務	門野マリ子	目黒區下目黒四ノ一〇〇三	
報道	鈴木布美	兼任	
国際	山崎文子	目黒区駒場八六一	
奨学第一部	北村孝	杉並區井荻三ノ一〇一	
奨学第二部	野見山不二	兼任	
會員	村井孝子	兼任	
学校教育	藤川富士子	杉並區和泉町一三八	
婦人地位	氏家靜子	大田區田園調布三ノ五	

支部所在地並に支部長

東京	東京都新宿區角筈二ノ八六 キルビー学院内	田中照子
函館	函館市五稜郭町五五	吉村花子
仙台	仙台市北五番町一五	大脇静枝
栃木	宇都宮市作新学院内	船田小常
千葉	市川市市川新田一七五	阿部勝子
新潟	新潟市本町通八番町	山内孝
岐阜	岐阜市加納沓井町八	浅岡八重子
奈良	奈良市北魚屋西町奈良女子大内	松尾スミ子
茨城	水戸市西原町自由ヶ丘	高木亀久栄
静岡	静岡市追手町双葉学院内	松村菊枝
愛知	名古屋市千種區鹿子町二ノ六二	棚橋はぎ
大阪	大阪市住吉区帝塚山大阪女子大内	木下薫
神戸	芦屋市月若町五六	船久保トメノ
福岡	福岡市六本松九大第一分校内	徳永喜久子
大分	別府市亀川平田九班	甲斐なつ
熊本	熊本市大江町熊本大学理学部官舎	南葉小露
京都	京都市上京区烏丸今出川東同志社女子大内	高田峯尾
群馬	前橋市石川町三二	清水郁子
山梨	甲府市富士川町六家庭寮内	高山千鶴
愛媛	松山市御幸町七三	鴻海薫
神奈川	横浜市矢部町九五	松本喜美子
長野	長野市妻科町	本多咲子
札幌	札幌市北一條西七丁目	廣沢すわ
秋田	秋田市保戸野諏訪町	大橋初代
広島	広島市皆実町副知事官舎	河野隆子
山口	山口市宮野山口女子短大内	宇賀神フク
小樽	小樽市富岡町一ノ十六	近藤静枝氣付
島根	松江市奥谷町一五二ノ一	渡辺節子 溝上泰子

第七回　総会記念

於　東京女子大学　　昭和28年4月5日

昭和二十八年四月五日　於東京女子大学

第七回總會議事記録

司会　奏　富久子氏

議長　粕谷よし氏

1、現約改正
2、年度計画
法人登録、事務所設立、基金設定（ホームス基金その他）の各件につき山崎光子氏説明。法人登録事務所設立の二件については次の委員会にゆずること、ホームス基金については、一九五四年度より奨学資金を出すようにとホームス氏よよ指定されているから、次の役員会に準備委員会を設けることを可決。
会報のことにつき笠原正江氏説明。会報記載の議案通り可決。具体的方法については、時間節約のため準備委員会を作つて決定することを議決。
3、国際大学婦人連盟加入の件
守屋百合子より説明。国際大学婦人協会は一九一九年からあつて現在三十三ケ国が加入している。本会は二〇〇〇人の会員があるのだが、それが全員で加入するとあまりに費用がかゝる。二〇〇人で一選挙権があり、どんなに大勢会員をもつていても、五選挙権を超えない規定がある。本会から二〇〇人加盟してその費用を会員全部で負担しても年に一人当り九十数円の支出となる。本部会費二〇〇円にもし支部も同額となり、（今年は東京支部は値上げしていない。百円に据置）更に国際大学婦人連盟に二〇〇人加入してその費用を全員で分担すれば、年に会費が五百円位になるが如何。せめて五〇〇人位加入したい。
各支部が意見をまとめてその上で決定することに議決。
4、共同研究課題
田中照子氏説明。
(1) 教育界における大学婦人の地位現状と対策
(2) 家庭婦人の生活現状と改善対策
一般的なことは労働省が調査しているから、本会としてはまず会員からやつて行く。今までに既にはじめているわけだから、それを基にして行く。
両方の問題ともやつて行くこと議決。
入会の際地位職業を記入してもらいたからそういうカードを作つてもらいたいという要求があつた。
5、加盟校資格審査
菅支那子氏説明。昨年度調査完了したのは、女子大としては福岡女子大学、共学の研学としては東京大学、慶應大学、早稲田大学、立教大学である。しかし福岡女子大は調べてみたらまだ來年にならなければ卒業生が出ない。共学の四大学は東大早大は女子高校はないが長年女子学生を育成して来たし、慶応には女子の教職員が居り立教には女子のデイーンがいる。
研究方面や施設や女子学生の補導等の点について、調査するのであつて、以上の大学のほかの大学は合併された専門学校が多く、從つて研究不足のために決定できない。支部のある地方の大学については支部長が資料を委員会へ提出してもらいたい。女子の大学については一般教育を重んじているかどうかが大切な点である。と。
東北大学及び北海道大学について至急研究の要求があつた。
6、二十八年度予算審議
予算案別掲、異議なし
7、次回總会開催地
関西の各地神戸大阪等の援助をうけて奈良でやること議決
8、緊急動議
田中照子氏提出
「中央教育審議会に婦人議員を送る件」
田中氏辭明書朗讀。一同賛成議決。言句を更に検討してこの辭明書を中等教育審議会に送達することとす。（文責竹内和子）

長門美保独唱とオペラの会
（奨学金のため）
とき　10月17日（土）午后2時30分
ところ　お茶の水女子大学講堂
主催　J・A・U・W・東京支部
会員券　一般 ¥150　学生 ¥120
会員皆様の御協力をお願ひ致します

大学婦人協会第七回總会会計報告（昭和27年度決算）

本部費

収入 費目	金額	支出 費目	金額
前年度越高	14,128.00	人件費	45,260.00
利子	363.00	居住費	12,000.00
附属寄付金	2,000.00	並に印刷費	13,496.00
役員会報より	4,500.00	役員会報通信費	13,809.00
支部より	129,800.00	支部会交通費	54,535.00
		外交費	1,370.00
		渉費	4,050.00
		会集費	615.00
		雑費	5,271.00
		次年度へ越	385.00
合計	150,791.00	合計	150,791.00

奨学金第一部（国内）

収入 費目	金額	支出 費目	金額
前年度越高	34,624.00	学資金	165,000.00
支部より	167,860.00	図書館費	3,000.00
利子	591.00	奨学金	2,400.00
		慶應通信費	1,660.00
		印刷費	4,610.00
		雑費	26,405.00
		次年度越高	
合計	203,075.00	合計	203,075.00

別途会計

ホームズ基金		財務部利益	
ホームズ氏寄附	197,285.00	時計収益	300.00
収益	2,708.00	オートミール	3,545.00
役員寄附	1,500.00	マスクリスマード	15,625.00
合計	201,493.00	カ写眞地誌	1,965.00
特別醵金	10,000.00	ー タ	4,610.00
長期会費			
会費	13,500.00		
預金利子	99.00		
合計	135,99.00	合計	26,045.00

奨学金第二部（国外）

収入 費目	金額	支出 費目	金額
前年越高	723.00	通信費	1,301.00
志願者より	9,000.00	印刷費	200.00
委員寄附	800.00	委員交通費	1,400.00
郵便料として	720.00	委員会費	5,827.00
		次年度越高	2,515.00
合計	11,243.00	合計	11,243.00

28年度予算

収入 / 支出	
会費	200円
会員	1,300人
合	260,000円
人件費	80,000.00
居住費	12,000.00
並に印刷費	20,000.00
具備品費	18,000.00
通信費	57,000.00
外交費	5,000.00
会交渉費	7,000.00
会集会費	3,600.00
総雑費	40,000.00
予備費	13,000.00
備	4,400.00
合計	260,000.00

アメリカ通信

廿六年度奨学生　武藤静子

只今十二月三十一日の夜日本ならもう少しで除夜の鐘といふ時刻こちらに来てから丁度四ケ月皆様に何かお書きするには格好の時と云えますでせう。生れてから四十余年の間日本の中でだけ生活して来た私にはこの四ケ月間は今まで閉ざされてゐた色々の面の窓が次々と開かれた時だと云ふことが出来ます。一つ一つの事が耳新しく目新しい。絶えずフレツシュな驚きの中に日々を重ねております。
日本にいた時に既にアメリカの話も聞いたり、本も讀んだりアメリカ人の生活もみているではないか何もそんなに驚いてみせる必要はないではないかと仰言るかも知れない。然し正直に云つて私は毎日何かしら新しいものを発見して驚いたり感心したりして居ります。一体どんな事に、次に、いくつか例を擧げてみませう。
(1)廣いガランとした教室一隅に一人の女の学生が何か暗記ものをしているらしい、他の一隅に二人の女学生が膝高に何かしやべつている。暗記の学生が曰く「試験があるので静かにして貰へないだらうか」二人の中の一人答えて曰く「私はどうしても膝を出す必要があるので事務の方に話して、この時間にこの部屋を使つていゝといふ許可をとつているのです。隣の図書室はどうなのですか。」「どうもそこがやかましいのです。」之でどちらもだまつて又それ〳〵の事を續けます。時間の終りに暗記生教室を出て行き乍ら「ごめんなさいね」「グッドラック（試験がうまくゆくように）」これでニコニコしながら別れました。日本人の私は一体之が日本学生の間に起つたらどんな結果になつたゞらうと思ひ乍ら不思議な氣持でこのやりとりを眺めてゐました。
(2)アメリカの大統領選擧前はどこの会話もこの問題で持ち切りでした。私の敬愛する彼女は熱心なスチブンソン党開票の夜は私達は或パーテイに招かれて居りましたが刻々のラヂオは大体スチブンソンに勝目のない事を報じていました。帰りに外へ出た時私が「どうもスチブソンは危いですね」と云つたのに対して「アイゼンハワーもまた立派な人物なのです」。恐らくその通りなのでせう。それにしても私はこの何氣ない一言で彼女に對する敬愛を一層深めました。
(3)クラスのデイカツシヨンで自分と違つた意見が出るとみんな遠慮会釈なく「ノウ」「ノウ」を連発する。相手が先生であつても一向おかまひなしに「ノウ」をやる。私は屈はずニコ〳〵して「ノウ」攻をして「ノウ」と云つてゐる。私自身を振返つてみると仲々「ノウ」が云へない。「ノウ」を云ふにはかなりの勇氣を要する。之、の国では「イエス」と云ふのと同じ容易さで、「ノウ」を云つているように私には感じられる。私は「ノウ」が何でもなく自由に云へる雰囲氣の重要さを感じています。
(4)カルフオニアで泊めて頂いていた家のお婆さん、自動車で私をあちこち連れ廻つて下さつたお婆さん。いつもニコ〳〵していて寝坊の私が遅い朝食をとつている側で色々の話をして下さる。庭に来る小鳥の話ガール・スカウトをつれて砂漠に旅行してスリーピングバツグで寝る話、町の小学校をよくするのに色々の街の団体がどんな活動をしているかといふような事。その中にこんな話がありました。お婆さんが前に住んでいらしつた町には日本人が沢山いて、みんな良い人でした。戰争が始まつた時政府の命令で日本人が他に移される事になつた時町の人達は教会を一ツ（こちらの教会は地下室まであつて大変大きいのです。尤も小さいのもありませうが）すつかりあけて日本人の大事な荷物をあづかりました。戰争が済んで日本人が元に帰された時、町では大きなパーテイを開いて日本人を迎え、荷物を無事に返す事が出来ました。カリフオルニアの新聞は一せいに、カリフオルニア州に於ける日本人に對する取扱の悪かつた事が、この戰争を惹き起した一つの原因だと報じていました。私はこの話を聞き乍らボロボロとパンの上にこぼれて来る涙を止める事が出来ませんでした。
(5)最後に私がとつている動物実験のやり方をお話しませう。クラスには三十人ばかりいますが実験は二人づつ組んで行はれます。この二人といふのは一人は先生で一人は生徒、つまり今日はビルが先生で私が生徒、ビルは私にすつかり実験の仕方を教えなければならない次回はビルは他の組の生徒となつて行くので私が先生になつて新しくやつて来たボブにすつかり教えなければならない。こうして同じ実験を一回は生徒一回は先生の立場で二度繰返すと、私は又新しい實験の場所に行つて先ず生徒になり次に先生になる。生徒になる時は氣易いけれども先生になる時には前以てよく準備してまごつかないようにして行かなければならない。この先生と生徒のシステムは實驗をよく消化するにも役立ちますが友達同志知り合ふのにも役立ちます。
まだ〳〵お話したい事は多々あります。どんなに困りの皆様がよくして下さるかAAUWのメンバーの方々が、留学生のお金を集めるためにどんなに活動しておられるか、又お互の向上親睦をはかるためにどんなにしておられるか。日本人が世界の一員として世界の幸福や平和に寄與して行くにはどう生きればならないだらうか等々然し今日は之でペンを擱きます。今十二時一寸過ぎ、アメリカの皆様に感謝を表すると同時に日本の皆様のよい新年をお祈り致します
（一九五二年十二月卅一日）

一九五一年度奨学生研究報告

螢光漂白剤に関する研究

お茶の水女子大学家政学部被服学科染色学研究室
林　雅子

私は昭和二十六年以来研究室矢部助教授の指導の下に、新しい繊維處理剤として近時各種繊維の増白に盛んに用いられて來た螢光漂白剤の染色特性について研究を行つている。はじめに螢光漂白處理布の螢光強度及び白度の測定方法を確立し、これに基づいて特に木綿用スチルベン系螢光漂白剤の濃度・温度・時間・助剤等處理條件による螢光能及び増白効果を検討した。又これ等の実験中、濃度消光並びに螢光増感等の特異現象を見出し、これ等に一貫する要因について新たな推論を行つた。我々のこの推論を確認し得れば、理論面並に応用面に寄与すること大なるを確信し現在種々の螢光漂白剤並びに種々の繊維を用いて検討を進めている。その成果の一部は四月の日本化学会に発表する豫定である。
昭和二十六年度奨学金によつて本研究が著しく推進されたことを深く感謝している。

編集後記

第十二号の発行が大変おくれましたことを深くお詫び申上げます率直なところ資金難でございますからこの際各員の会費完納を併せてお願ひいたします。なほ支部の醵を会報の上に響かせ度いと思ひますから奮つて御寄稿下さいませ。

鈴木布美